

息軒だより

第54号

発行 宮崎市安井息軒記念館
〒889-1605
宮崎市清武町加納甲3378-1
TEL 0985-84-0234
FAX 0985-84-2634
e-mail: sokken.yasui@pic.bbiq.jp
<https://yasuisokken.jp>

安井息軒顕彰パネル展

7月1日から9月28日まで、清武総合支所とその他の施設で「安井息軒巡回パネル展」が開催されています。清武総合支所では常設展「息軒の政策論」が、宮崎市立図書館、田野総合支所、高岡総合支所、佐土原総合文化センターでは「安井息軒、その人となり」が巡回します。常設展では、息軒の思想と功績について知ることができます。巡回展では、家族を思う息軒の気持ちや囲碁が好きだったことなど、内面について紹介しています。息軒没後150年の節目に息軒を少しでも知っていただければ幸いです。

巡回期間については「息軒だより」最終ページを参照ください。



清武総合支所



宮崎市立図書館



宮崎市立図書館

安井息軒顕彰小学生使節団派遣事業事前学習



7月24日に埼玉県川口市派遣に参加する小学生の事前学習が行われました。宮崎市生涯学習課が行っている派遣事業です。息軒は明治維新の時、戦火を避けるために今の埼玉県川口市領家に疎開をしていました。その時のつながりから、平成15（2003）年より宮崎市の各小学校の代表児童が夏休みを利用して使節団として川口市に派遣されています。

今回使節団は記念館と飢肥の振徳堂や小村寿太郎記念館の見学をしました。

そして7月末に3日間、東京・埼玉の息軒ゆかりの地を巡ります。東京都では慶應義塾大学斯道文庫、養源寺（安井息軒公墓）、海嶽楼跡、湯島聖堂等を巡り、埼玉県では領家小学校と息焉舎（川口市）等を回ります。

ゴールデンウィーク企画報告

5月2日から6日まで、ゴールデンウィーク企画として安井息軒クイズラリーを実施しました。子どもたちだけで来場した方や親子連れなど、94名の方にご参加いただきました。皆様クイズ用紙を挟んだボードを片手に、にぎやかに問題を解いていました。この期間は、県外から帰省された来館者も多く、初めて記念館を訪れたという方もおりました。館内だけでなく旧宅にも足を運び、見学を行いながらクイズを解いていただきました。10問中8問正解で息軒博士号を授与ということで、真剣に取り組む参加者の姿が微笑ましく職員にとっても嬉しいひとときとなりました。最後は参加賞を受け取り、皆さん笑顔でイベントを終えられました。これを機会に息軒先生に興味を持って、また当館に足を運んでもらえたら幸いです。



第1回記念館講座報告



6月20日（土）に第1回記念館講座が行われました。演題は「安井息軒入門」講師は当館長の伊東但です。本年度初回の講座ということで、息軒をこれから学んでいこうという方々のための入門的な内容となりました。今回初めて講座に参加された方々からは、「息軒の名前は知っていたが漠然とした知識しかなかった。講座でより勉強になったので、次回からもぜひ参加したい」という声を多くいただきました。

今後5回の講座を予定しております。第2回目の講座は9月12日（土）演題は「息軒門人の生きざまー抗争の久留米藩ー」講師は諸岩則俊氏です。ご興味のある方はぜひご参加ください。

旧宅清掃

「国指定史跡安井息軒旧宅」の清掃が4月25日、5月23日、6月27日、7月25日に行われました。暑い中、中学生・高校生のボランティアや地域の方々にお手伝いをいただきました。ありがとうございました。



秋の企画展のご案内

この秋の企画展のテーマは「安井息軒顕彰の歴史」です。

本年は、安井息軒が明治9(1876)年に亡くなってから、ちょうど150年目にあたります。

安井息軒の没後からこれまで、多くの人々が息軒の名を残し、その生涯や功績を伝えようと努力してきました。今回の展示では、そうした顕彰(けんしょう※)の歴史をふりかえります。

※顕彰…その人の知られざる功績や善行について、広く世間に知らせ伝えていこうとすること。

展示資料の中から一つご紹介しましょう。下の写真は、昭和4(1929)年7月30日に半九公園(現安井息軒旧宅敷地)が完成した際の記念写真です。

公園内に建てられた大きな「安井息軒先生誕生地」碑の前で、8名の男性が並んでいます。この息軒の顕彰碑を建てるために尽力した方々でしょう。この碑は当時、半九公園入口階段を上ると正面に見える位置、つまり現在の生家がある場所に建てられていましたが、平成6(1994)年3月、生家の復元移設工事に伴い旧宅北西隅に移されました。

この顕彰碑正面の文字は徳川宗家第十六代当主の徳川家達公爵の筆によるものです。その下の碑文は、息軒の外孫である安井小太郎氏が文章を作り、文字は飢肥藩最後の藩主祐帰の長男である伊東祐弘子爵が書いています。碑文は漢字ばかりで意味がわかりにくいため、展示では現代語訳も紹介します。



展示を通して、安井息軒がどのようにして知られるようになったのかが、おわかりいただけると思います。ぜひご覧ください。

(文責 竹井)

「安井息軒顕彰の歴史」展

開催期間：9月15日(火)～11月29日(日)

場所：宮崎市安井息軒記念館 特別展示室

安井息軒顕彰書道展作品募集



令和8年度安井息軒顕彰書道展の作品を募集いたします。募集期間は7月3日(金)～8月30日(日)となっています。表彰式が11月1日(日)、入選作品の展示期間は11月1日(日)～11月29日(日)

対象は未就学児から一般の方どなたでも応募可能です。作品は半紙(縦33cm×横24cm)での提出をお願いいたします。料金は無料で一人一点です。詳細は記念館ホームページをご覧ください。

年齢別に題字を設けていますので紹介いたします。

- 【未就学児】 「いご」…息軒先生は囲碁が好きでした。友人や弟子たちと囲碁をしていました。
- 【小学1、2年】 「たび」…息軒先生は旅が好きで九州一周や群馬、東北を旅しています。旅のことを書いた「紀行文」が残っています。
- 【小学3、4年】 「かやぶき」…茅葺(かやぶ)き屋根のことです。安井息軒記念館の隣りにある「国指定史跡 安井息軒旧宅」の屋根は伝統的な茅葺き屋根です。
- 【小学5、6年】 「南陽」…息軒先生の若い頃の号です。号とは、ペンネームみたいなものです。「息軒」も号の一つです。
- 【中学生】 「治国安民」…息軒先生が勉強していた儒学が求めていたものです。国を正しく治め、国民が安心して暮らせるようにすることです。
- 【高校生・一般】 「尊王攘夷」…明治維新の頃の思想の一つです。1858年、日米修好通商条約が結ばれました。しかし、条約は天皇に許可を得ずに幕府が独断で結んだものでした。そのため、幕府への批判が高まり天皇を尊ぶ「尊王」論と、外国勢力を追い払う「攘夷」論が結びつき、尊王攘夷運動へと展開していきます。



講座・イベント情報

安井息軒記念館講座 10:00～11:45 場所：宮崎市安井息軒記念館 研修室

事前申込必要 参加無料 定員40名

第2回 9月12日（土） 「息軒門人の生きざまー抗争の久留米藩ー」

講師：NPO法人安井息軒顕彰会 諸岩則俊 氏

第3回 10月31日（土） 「安井息軒先生墓碑銘の異体字について」

講師：宮崎大学教育学部 山元宣宏 氏

第4回 11月21日（土） 「日英同盟と日露戦争」（仮）

講師：甲斐睦教 氏



安井息軒顕彰巡回パネル展スケジュール

【常設展】「息軒の政策論」 7月1日～9月27日（清武総合支所）

【巡回展】「安井息軒、その人となり」

7月1日～7月13日（宮崎市立図書館）、7月15日～8月6日（田野総合支所）、8月8日～9月1日（高岡総合支所）、9月3日～9月27日（佐土原総合支所）

詳細は宮崎市のホームページをご覧ください。

「国指定史跡 安井息軒旧宅」清掃ボランティア募集



安井息軒旧宅の清掃ボランティアを募集しています。文化財を後世に残すために史跡の清掃に参加しませんか。

時間は8:30～10:00。開催日は8月22日（土）、9月19日（土）、10月24日（土）、12月5日（土）です。

参加を希望の方は事前にご連絡ください。申し込み方法はHPのお問い合わせフォームへ記入または電話でお申し込みください。天候により中止または日程変更をする場合があります。記念館HPなどをご覧ください。

開館時間：9:00～16:30 （※入館は16:00まで） 入館料無料

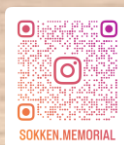
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日（土日を除く）、年末年始（12/29～1/3）

講座・イベント・団体見学のお申し込み、お問い合わせは窓口および電話・FAX・メールにて受け付けております。また、出前講座のお申し込みも受け付けております。

講座・イベントは、日程および内容が変更になる場合がございますのでホームページで最新情報をお知らせしております。ご確認くださいませ。



HP



Instagram



Facebook

SNSも更新しています。フォローよろしくお願いします。